

新刊のご案内

「牡丹社事件」

# マブイの行方

## 日本と台湾、それぞれの和解

### 平野久美子

現代の視点から、初めて「牡丹社事件」をとらえた本書には、百数十年の時空を超えて、異郷で命を落とした犠牲者のマブイ（靈魂・琉球語）と向き合った遺族たちが登場。

罪と罰、和解と葛藤。加害と被害の末裔が日台で繰り広げたドラマを、台湾を知り尽くした著者が描く。

5月  
中旬刊

台湾を  
さらに知るための  
待望の一冊！



## 日台の近代史は、 この事件から始まった！

- 序章 耳を疑ったニュース・飛び込んできた、ビックリ仰天のニュース
- 第一章 和解への旅・時空を超えて、事件の被害者と加害者の末裔が向き合った
- 第二章 事件の顛末・日本人が、すっかり忘れていたあの事件
- 第三章 末裔たちの葛藤・末裔たちは、歴史を背負って生きてきた
- 第四章 パイワン族の口伝・日本の公文書が記録できなかった、事件の核心「なぜ？」
- 第五章 忘却の拠点地・長崎から台湾出兵を振り返る
- 第六章 未来への残像・和解のゴールを求めて歩み続ける人々
- 終章 マブイの行方・未知の彼方からマブイの視線が・・・

平野久美子（ひらのくみこ）

東京都出身。学習院大学卒業。編集者を経て90年代末より執筆活動へ。アジアと日本の関係をテーマに作品を発表。台湾は四半世紀にわたり取材を続け、日本統治時代から食文化まで造詣が深い。主な著作に「淡淡有情・日本人より日本人」（小学館ノンフィクション大賞）、「トオサンの桜・散りゆく台湾の中の日本」「台湾好吃大全」（新潮社）「水の奇跡を呼んだ男」（産経新聞出版）（日本農村土木学会著作賞）「テレサ・テンが見た夢・華人歌星伝説」（ちくま文庫）「台湾世界遺産級案内」（中央公論新社）など。ユニークな視点と綿密な取材には定評がある。日本文藝家協会会員。

宮古島和解。パイワン族の少女を抱きしめる宮古島市長。

●四六判並製 ●326頁  
●本体 1852円（+税）  
ISBN978-4-904213-72-8  
C0095

人文書（日本近現代史／台湾史）ご担当者様

書籍注文書	集広舎	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-904213-72-8
	【書店番線印】				「牡丹社事件」 <b>マブイの行方</b> <b>日本と台湾、それぞれの和解</b> 定価 2,000円（本体 1852円 + 税）
		冊		様	
		鎌谷書店 扱		福岡市博多区中呉服町 5-23 ☎ 092-271-3767	

担当者：川端、石田

【ご注文は FAX：03-5309-2831 まで】